

岡山大学経済学部・社会文化科学研究科共催

2008 年度国際学術集会

東アジア，ヨーロッパにおける新興国経済発展と地域協力

Rising Economies and Regional Cooperation in the East Asia and Europe

2008 年 12 月 13 日 (土)

09:20-09:30 歓迎の辞 清水耕一 岡山大学経済学部学部長

09:30-12:00 第1セッション 司会 田口雅弘 (岡山大学, 日本)

Magdalena Iordache Platis (ブカレスト大学行政・経営管理学部学部長, ルーマニア): Consumer Behavior in Romania before and after the Integration in the European Union

Chan-Hyun Sohn (江原国立大学経済研究所所長, 韓国): Trade Structure, FTA and Economic Growth:

張虎 (中央財經大学, 中国): Analysis on Exchange Rate Pass-Through with Evidence from Northeast Asia

横尾昌紀 (岡山大学, 日本): Chaotic growth in an overlapping generations model with endogenous structural change:

12:00-13:10 昼食

13:10-15:40 第2セッション 司会 : 横尾昌紀 (岡山大学, 日本)

王虎 (上海社会科学院, 中国)

Young Youn Lee (江原国立大学, 韓国): The Impact of Demographic Transition on Economic Growth

村井浄信 (岡山大学, 日本): A probabilistic model on the long memory property in stock market

張蘇(中央財經大学, 中国): The scientific basis of Cooperation economics

15:40-16:00 休憩

16:00-18:00 第3セッション 司会: 松本俊郎 (岡山大学, 日本)

Sorin Toma (ブカレスト大学, ルーマニア): Paths to Economic Modernization: Japan and Romania (1860-1914)

葛偉民 (上海社会科学院, 中国)

韋倩 (山東大学, 博士後期課程, 中国) : 经济增长中的合作因素(Cooperation in Economic Growth)

18:00-18:10 閉会の辞 春名章二 岡山大学社会文化科学研究科研究科長

岡山大学経済学部と大学院社会文化科学研究科では、研究交流協定を結んでいる海外の大学から研究者を招いて12月13日（土）に国際学術集会を開催する。テーマは「東アジア，ヨーロッパにおける新興国経済発展と地域協力」である。

東アジア地域の世界経済に占める比重がますます高まり，また EU 統合が東ヨーロッパに及びつつある現在，このようなテーマを設定した研究集会はきわめて有意義であると思われる。

集会には，EUに加盟してまもなくのルーマニア，なお発展しつつある中国，そして先進国として世界経済の中ですでに重要な地位を確立した韓国の第一線の研究者が多数参加し，研究報告を行う。また岡山大学経済学部からも2名の若手研究者が報告する。詳細は別紙プログラムを参照されたい。

会場は岡山大学経済学部教授会室であるが，大学院生，学生はもとより一般の人でも無料で傍聴，参加できる。ただし報告，討論に使用される言語は英語である。